

令和7年度伊那弥生ヶ丘高等学校 第2回学校評議員懇談会 記録

1 日 時 令和8年2月9日(月) 15:40～17:00

2 場 所 本校大会議室

3 参加者

(1) 学校評議員：3名出席(4名欠席)

(2) 職 員 ：校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、
学習指導係主任、生徒指導主事、保健主事、
生徒会係主任、PTA係主任、学校職員代表



4 内 容

(1) 学校長挨拶

(2) 令和7年度末学校評価について

(3) 令和7年度の活動及び改善点について

生徒指導係、教育相談係、進路指導係、学習指導係、生徒会係、教務係、PTA 係

(4) 生徒発表(音楽部)

(5) 懇談

- a. 学校評議員：伊那新校が令和10年に開校する頃、弥生は全学年が揃わない中で、高校生活がどのように変わっていくか中学生にどんな説明をしているのか。
- b. 学校長 ：11月の中学校訪問で、令和8年度入学生の高校生活がどう変化するのか各中学校に説明をしてきた。特にクラブ活動は、伊那北との合同チームを含め、今後どう維持していくのが課題となっている。
- c. 学校評議員：複数学年で学ぶ効果はある。令和9年度からの入学者数について危惧している。弥生に入学した生徒が入学後、実情を知った時にどんな反応を示すのか。クラブの合同チームの編成等、早めに対応してほしい。
- d. 学校評議員：ICTの活用について、生成AIが急速に普及し、社会は衝撃的な状況。読書感想文を頼めばすぐに書いてしまう。今後は、AIに一度投げかけて、自分でアレンジする力が必要。学校の中ではどう活用しているのか。
- e. 学習指導係：まだ校内で生成AIの活用基準は整備していない。
- f. 教務係 ：係内でも話題になっている。学校で共有できるものをつくりたい。
- g. 学校評議員：探究では、郷土愛プロジェクト等の第3の大人との出会いを大切にしてほしい。いかに地元の大人とつながっていくか。将来的に新校のコンソー

シアムにつなげ、開かれた学校にしてほしい。

- h. 学校評議員：授業評価を行うと生徒の評価は高く、保護者、先生の評価は辛口になる傾向がある。中学の生徒を見ていると、新校による弥生離れは心配していない。むしろ新校になった時にやっていけるのかという不安がある。高校とはオフィシャルな行事以外でも風通しのよい交流をしていきたい。
- i. 学校評議員：アセスの実施について、学校生活に適應できない生徒の状況はどうか。アセスについては、中学でも取り入れたい。
- j. 教育相談係：学校生活に適應できない生徒は、学校生活だけでなく、家庭生活に問題を抱えている場合もある。
- k. 学校評議員：探究活動での問いについて、高校では、丁寧に行っている印象。問いをブラッシュアップする中で、問いの乗り換えややり直しなど2年次になったときはどうか。中学の方が勇み足で進めているかもしれない。生成 AI の活用は伊那市内の小中学校では導入が進んでいる。これから小中学校教員対象の研修会が始まる。今後は、生成 AI を活用している中学生が高校に入学してくる。進路指導に関わって早めの学力について中学校訪問時に高校の様子と共にぜひ中学生に説明してほしい。
- l. 学校評議員：学校での服装に関して中学では、衣替えはなく、制服やジャージ、部活動のウェアなど、その場にふさわしい服装を自分で判断させている。中学校でできたことを高校でもつなげてほしい。
- m. 学校評議員：生成 AI の活用について、作文を書く授業はあるか？ 当時は、作文をよく書いた。
- n. 教科担当：今の授業では、書く機会はあるが、たくさん書くわけではない。
- o. 学校評議員：就職について、就職希望者は、希望する業種に就職できているか。
- p. 進路指導係：全員希望する業種に就職できている。
- q. 学校評議員：先日、雪が積もった時に野球部の生徒が横断歩道の雪かきをしてくれたという話を聞いている。

④ 諸連絡

⑤ 閉会